

平成 28 年度 NPO 等による復興支援事業

ホールレセプションист研修 (宮古・久慈)

多様なイベントに対応できる接客サービスをサントリーホールスタッフから学びます。文化施設に従事する方、発表会やイベントなどに携わる方などごなたでもお申し込みいただけます。

“ホールレセプションист”

コンサートホールや劇場での本格的なサービスを担うプロの接客係

【宮古市 (初級編)】3月18日 (土) 14:00 ~ 16:30

会 場: 宮古市民文化会館 大ホール

【久慈市 (中級編)】3月19日 (日) 13:00 ~ 15:30

会 場: 久慈市文化会館 大ホール

参加費: 無料 対象: 高校生以上 定員: 各回 30 名

※いわてアートサポートセンターHP専用フォームからお申込ください。

問合せ: 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

主 催: 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
いわて文化支援ネットワーク

共 催: 久慈市教育委員会

協 力: サントリーパブリシティサービス株式会社



いわてアートサポートセンター

いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

イベント情報

3/14 劇団 短距離男道ミサイル20 発目
母さん、たぶん俺ら、人間失格だわ **盛岡公演**

脚本・演出: 澤野正樹

【日 時】3月14日 (火) 19:00 ~

※受付・開場は開演の20分前、上演時間は約60分を予定

【会 場】いわてアートサポートセンター 風のアトリエ

【料 金】2,000 円

【問合せ】boxes Inc. 022-353-9755 / info@srmissile.xyz

3/18▶20 劇団もりのべる × 劇団ちゃねる第3回合同公演

ファイナルファンタジック
スーパーノーフラット

作: 本谷有希子 (劇団、本谷有希子) 演出: 角館信哉 (劇団ちゃねる)

【日 時】3月18日 (土) 17:30 ~, 3月19日 (日) 13:00 ~ / 19:00 ~,
3月20日 (月・祝) 14:00 ~

※開場は開演の30分前、上演時間は100分を予定

【会 場】いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

【料 金】前売・予約 800 円 / 当日 1,000 円

【問合せ】TEL: 090-7660-0073 (制作)

E-Mail: gekidan.channel@gmail.com

鉤屋町界限イベント情報

したまち小劇場祭 2017 参加作品

11 土 盛岡弁で語る“昔話っこ”

ホッコラと懐かしい故郷の訛り。
目を閉じると懐かしの風景と物語の世界が現れる。

【日 時】3月11日 (土) 13:30 ~

【会 場】大慈清水お休み処 ※参加無料

【語り部】“下町のおはなばあちゃん” 花田陽子さん

【演 目】「乱菊丸とポタン丸」「新山舟橋」他

18 土 街並み修景フォーラム

この界限にふさわしい景観のこと一緒に考え、学んでみませんか

【日 時】3月18日 (土) 13:00 ~

【会 場】大慈清水お休み処 ※参加無料

【問合せ】盛岡まち並み塾 019-622-8989



発行者

特定非営利活動法人
いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 南大通ビル3階

TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

【窓口営業時間】13:00 ~ 19:00 (平日)

【施設利用可能時間】9:30 ~ 21:30

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉤屋町10-8

TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp

URL http://machiya.iwate-arts.jp

【開館時間】9:00 ~ 19:00 (入館は 18:30 まで)

※浜藤ホールのみ、利用時は 21:30 まで

【休 館 日】毎月第4火曜 (休日の場合はその翌日)

年末年始: 12/29 ~ 1/3

【入 館 料】無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい!

肴町事務所・風のスタジオ窓口と、もりおか町家物語館母屋案内所には、
プレイガイドを設置しております。

販売手数料5% (消費税込み) で、イベントチケットをお預かりします。
直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



もりおか町家・風の通信

3月号



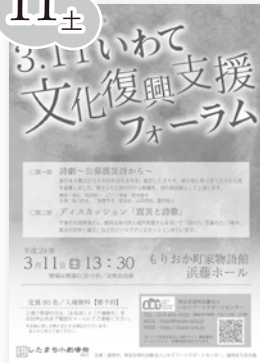
もりおか町家物語館母屋常居に、
雛人形を展示中です!



もりおか町家物語館

もりおか したまち小劇場祭 2017

3/11 土



平成28年度NPO等による復興支援事業
『3.11 いわて文化復興支援フォーラム 震災と詩歌』

第一部
詩劇～公募震災詩から～
第二部
ディスカッション「震災と詩歌」
ゲスト 外岡秀俊（作家）
城戸朱理（詩人）

【日時】3月11日（土）13:00 開場 13:30 開演
【入場料】無料 ※要予約
【問合せ】いわてアートサポートセンター
019-604-9020 kaze@iwate-arts.jp
【申込み】お名前・ご連絡先を上記までお知らせください。

3/18 土



宮沢賢治生誕120年記念演劇公演
ちゆうじ きししょう
『中の字の徽章と銀時計』
脚本・演出 藤原正教

明治から大正期にかけ、その後の賢治の生き方に少なからず影響を与えたと思われる「まばゆい街」盛岡。多感な少年期、盛岡中学で過ごした賢治の五年間とは・・・

【日時】3月18日（土）全2回公演
14:00 / 18:00 開演（開場は開演の30分前）
【入場料】前売 一般1,500円（当日1,800円）
前売 シニア・学生1,200円（当日1,500円）
【問合せ】もりおか町家物語館 019-654-2911

4/9 日

盛岡町家 旧暦の雛祭り

三上紀子 ひな祭り民謡ショー



地域の年中行事として親しまれている「盛岡町家 旧暦の雛祭り」。雛祭りの華やかさに彩りを添えるステージをお送りします。

【日時】4月9日（日）
13:00 開場 13:30 開演
【入場料】前売 一般1,500円（当日1,800円）
前売 シニア・学生1,200円（当日1,500円）
☆ひな祭り通行手形提示で500円返金
【問合せ】もりおか町家物語館 019-654-2911

事業報告

もりおか町家物語館平成28年度鑑賞事業 黒森神楽盛岡巡行



1月29日（日）、浜藤ホールおよび風の広場にて、国指定重要無形民俗文化財「黒森神楽」の盛岡巡行を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、大盛況の公演となりました。風の広場でおこなった「シットギ舞込み」では、権現様のオマブリ（お守り）として、シットギ（米の粉を水で練ったもの）を見物人の額や鼻筋につけてまわりました。浜藤ホールでは、「打ち鳴らし」から始まり、「清祇」「榊葉」「岩戸開き」「大蛇退治」「松迎」「山の神舞」「恵比寿舞」「舞立ち（身固め）」が舞われました。圧巻の舞に、皆さん大変満足されていたようです。



町家の雪あかり ～恋のライトアップ2017～

もりおか雪あかり2017サブ会場

2月9日（木）～11日（土）に開催された「もりおか雪あかり」のサブ会場として、もりおか町家物語館も参加しました。今年のテーマは「恋」。ハート型の雪像やライトアップで、ノスタルジックな町家がロマンチックに大変身。大切な人と一足早いバレンタインを楽しんでもらえたようです。たくさんのご来場ありがとうございました。

カフェDOMAからのお知らせ

3月中旬から4月下旬は、明治の鉾屋町に生きたおじさんの集めた錦絵を展示します。
（お花見・名所・すもうなど）

カフェDOMA

営業時間 11:00～16:00

《定休：毎週火・水曜日》

※カフェ営業時間以外でも、施設開館中は展示見学可能です。

3月4日（土）、11日（土）、18日（土）は、したまち小劇場祭2017にあわせて、延長営業予定です。

リレーコラム No.11 『舞台会社の社会的使命』

私の会社は、コンサート・祭典・発表会などの照明・音響の技術スタッフと、公共文化ホールのホール施設管理担当を担っている会社です。俗に云う、舞台の裏方をしている会社ですと自己紹介すると「ああ、舞台会社ね。」と言われます。

事務局から指定されたこの表題で、私たちの仕事に社会的使命はあるのかと、それは社会的にニーズ（必要性）があるのか、ウォンツ（欲望）があるのかと再度考えさせられました。

東日本大震災から6年になりますが、当時、直接的間接的被害に遭われ、表現活動の継続が困難になった方々が沢山いらっしゃいます。私共の業界も、受注した仕事が次々とキャンセルになりました。それは、生活するうえでと言うより、今を生きるためのニーズの順番が下位だと世間が言っているように感じました。しかし数ヶ月後、受注が再開しました。表現する方々や鑑賞する方々両者に、芸術文化の飢餓が生じ、ウォンツ（欲望）が発動したのだと思います。生きるためには芸術文化も必要不可欠だと。

芸術文化を学ぶ欲望から、それを公の場で表現する欲望になり、そこからがいよいよ私共舞台会社の出番です。主たる表現を邪魔せず、より華やかに、大勢の方々により見えるよう、より聴こえるよう、そして感動をプラスするため表現者の行動に寄り添い、手伝い、後援していく者として、芸術文化の振興の一役が社会的使命と考えます。

また、芸術は常に変化して行くものと思っております。既存の考え方や行動、固定概念で物事を進めず、求められていることを理解し、すべてのことにゴーサインを出していきたいのですが、公共の場では法律や条例や危険性を考えノーと言わなければいけないこともございます。限りある環境の中で最大限の効果を発揮し表現活動を支援すること、そして限りある環境の変化を促していく、これも舞台会社の使命です。

広大な芸術文化の裾野から高い芸術性を作り出す瞬間に居合わせているのも舞台会社の日常であり、その場を借りて芸術表現をさせていただいているのも舞台会社・裏方なのだと思います。

（株）アクト・ディヴァイス 水野美砂